

報道関係者各位

ニュースリリース

デルタ電子 環境共生型・メガソーラーの開発、運営 荒地を太陽光と緑の山に、赤穂エネルギーパーク 連系開始 5周年

デルタ電子株式会社（本社：東京都港区 代表者：柯進興、以下「デルタ電子」）は、2016年1月12日に、兵庫県赤穂市にて大規模太陽光発電所（4MW メガソーラー発電所）「デルタ電子 赤穂エネルギーパーク」（以下、「赤穂エネルギーパーク」と略）の連系運転を開始、本日、満5周年を迎えました。

「赤穂エネルギーパーク」は、2013年末に開発を開始、2016年1月に連系運転を開始した「環境共生型・メガソーラー」発電所です。中国山地の南東の裾野の、森林資源が伐採され荒れ地となった山肌を活用して作られました。

「赤穂エネルギーパーク」が目指す環境共生とは、地元自治会の意向に基づいた①自然環境の改善、維持、②生活共生、そして③原風景の維持です。



発電所の麓に馬路池という農業用水池がありますが、荒れた山肌から流れ出た大量の表土が堆積していました。「環境共生型・メガソーラー」の開発は、まず堆積した土砂を掻き出し、馬路池の再生からスタートしました。原風景を維持するため、山を削る造成は行わず、森林伐採で露出した表土に植栽し太陽電池アレイを設置しました。太陽電池アレイの下に下草を育てることで、森林と同様に保水力を高め表土の流出を防ぐ為です。また、伐採された山林を回復する為、2000本の植林を実施しました。

運転開始後も太陽光発電を見守りつつ、山を育て護る取り組みが続きます。除草剤や防草シートは一切使用しません。開所当初、下草が十分に育たず、大雨によって表土が流されることがありました。そのたびに補修を行いました。次第

に草木が育ち始めると、太陽電池モジュールに影を落とすこともあり、程よい高さで刈らねばなりません。5年が経過、アレイの下に蓄えられた下草は月日とともに保水力が増し、表土流出が止まりました。

「赤穂エナジーパーク」では森林保全の為、外周 30メートル以内にある森林を一切伐採することなく維持しています。杉などの高木林が多く含まれ、朝夕、影を落とすため、日中、全ての太陽電池パネルに太陽光が当たる時間は殆んどありません。更に、太陽電池アレイは山肌に沿って、様々な方位、角度で設置されています。

発電量を維持するためには、デルタ電子製、分散型・マルチストリングパワーコンディショナの導入が欠かせませんでした。185台の分散型パワーコンディショナを導入し、4.6MW分の太陽電池を370のストリングに分解し、細かく制御することで、部分的な影による影響を最小限に抑え、発電量を維持しつつ、電力供給に貢献しました。5年間の総発電量は約27GWhで、想定発電量の110%を記録しました。

地元、西有年の自治会員で赤穂市市議会議員を務める田淵和彦氏は、「かつて、森林伐採により山林の保水力が失われていて、大雨が降ると馬路池に山から水が急激に流れ込んだ。土砂災害に繋がりはしないか危機感があったが」「赤穂エナジーパーク」の開発とともに馬路池の修復、植栽によって山林の復元が進んだ。5年に亘る保全作業により緑が茂り、池の水の色が戻った。デルタ電子の取り組み、努力に感謝致します。西有年は縄文遺跡や、古墳群に囲まれる穏やかな土地柄です。有年地区のまちおこしを進めていますが、デルタ電子との新たな取り組みを考えてゆきたい。」とコメントを寄せていただきました。

デルタ電子・代表取締役の柯は「赤穂エナジーパークが地元を受け入れられる太陽光発電所となったことは、とても嬉しいことです。有年の皆様に感謝いたします。技術を高め、環境貢献しつつ共生を目指すことは、私たちの理念でもあり、有年地区の発展に何らかの貢献ができないか考えてゆきたい。」と応えました。

「デルタ電子」は、運転開始5周年を期に、「赤穂エナジーパーク」に「太陽光生活研究所」を一月末に開設する予定です。「太陽光生活研究所」は、CN2050(2050年カーボンニュートラル)の実現に向けて、太陽光エネルギーをより生活、コミュニティに浸透できるように生活者目線で研究、実践する場です。(詳細は1月末開設時に発表予定。)
デルタ電子は「赤穂エナジーパーク」の運営を通じ、これからも環境共生に取り組み続けます。

2015年/12月 太陽電池モジュール設置完了



2020年/8月 5年経過。緑化、森林、馬路池の再生



<添付資料>

PDF 2013年実地調査開始～開発工事、馬路池再生、2020年12月まで

<発電所概要>

名称	デルタ電子 赤穂エナジーパーク
事業実施場所	兵庫県赤穂市西有年字北山 3000 番 83 他
事業者	デルタ電子株式会社
総敷地面積	約 96,000 ㎡
発電出力	4,000kW
設備規模	太陽電池モジュール 4,572.84kW (265Wp/枚 x17,256 枚) パワーコンディショナ 4,000kW(20kWx175 台、50kWx10 台)
想定年間発電量	約 4.9GWh (一般家庭約 1,100 世帯分の年間消費電力量に相当)
5 か年の総発電量	27GWh (想定発電量に対し約 110%)
植林した本数	2000 本
もともと成長した樹木	やまもも (約 8 M)

<デルタグループについて>

デルタグループは世界有数のスイッチング電源、冷却ファンメーカーであり、またパワーマネジメント、電子部品、ディスプレイ、FA、ネットワークから再生可能エネルギーソリューションまで広範に渡る機器とサービスを提供しております。1971 年に台湾で創業し、現在では世界各地に営業拠点と製造拠点を擁しております。

ホームページ : <https://www.delta-solar.jp/>

<本リリースに関するお問合せ先>

デルタ電子株式会社 エナジーインフラ営業本部
マーケティング企画部 高嶋 健
電話 : 03-5733-1239
E-Mail : tks.takashima@deltaww.com
URL: お問い合わせ <https://delta-solar.jp/contact/index.php>

<デルタ電子概要>

会社名 : デルタ電子株式会社
代表者 : 柯 進興
所在地 : 東京都港区芝大門 2-1-14
設立 : 1991 年 6 月
URL: <http://www.delta-japan.jp>
